

環境への影響

増加が続く二酸化炭素排出量

平成14年現在の一日の自動車の総走行距離は約2,300万kmであり、これから二酸化炭素排出量を推計すると約7,800トンになります。また、地域別では仙台市街地や国道に沿った地域での単位面積あたりの二酸化炭素排出量が多くなっています。

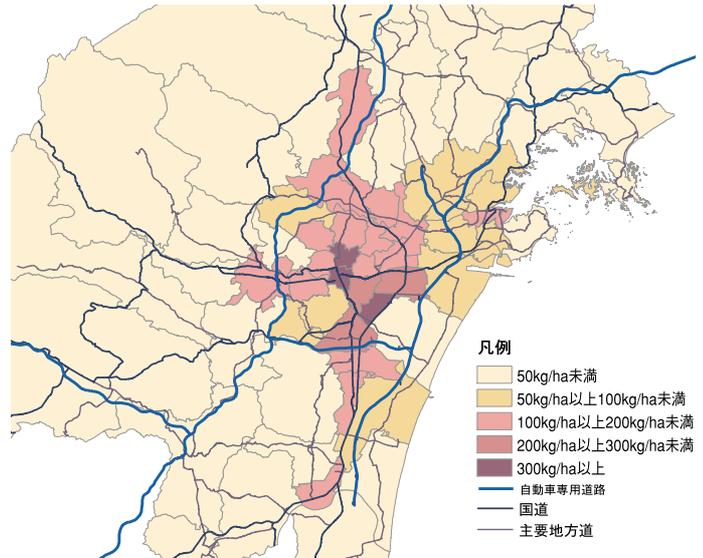


図 地域面積あたり二酸化炭素排出量（1日あたり）
※第4回仙台都市圏パーソントリップ調査による自動車配分結果より作成

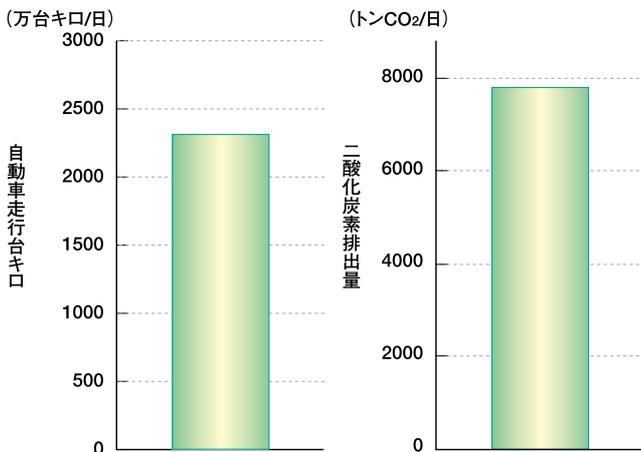


図 仙台都市圏の自動車走行台キロおよび二酸化炭素排出量

地球温暖化の原因物質の一つである二酸化炭素の仙台市における排出量は、1990年度以降増加傾向にあり、中でも運輸部門の割合が大きくなっています。

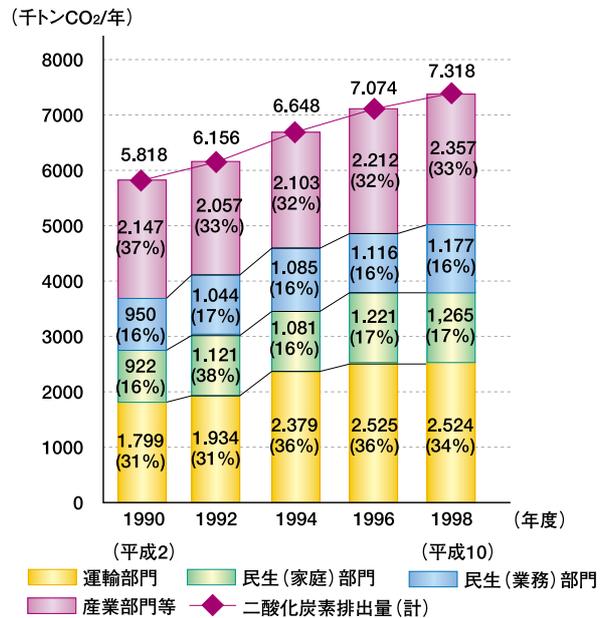


図 仙台市における二酸化炭素排出量の変化

※出典：仙台市の環境

自動車騒音による住環境への影響

仙台市内の主な幹線道路の沿道における夜間の自動車騒音の環境基準の達成状況を見ますと、国道4号や仙台北環状線、国道286号などでは約8割が環境基準を達成しています。一方で、仙台松島線、国道4号仙台バイパス、仙台泉線の沿道では環境基準に達していない地域が見受けられます。

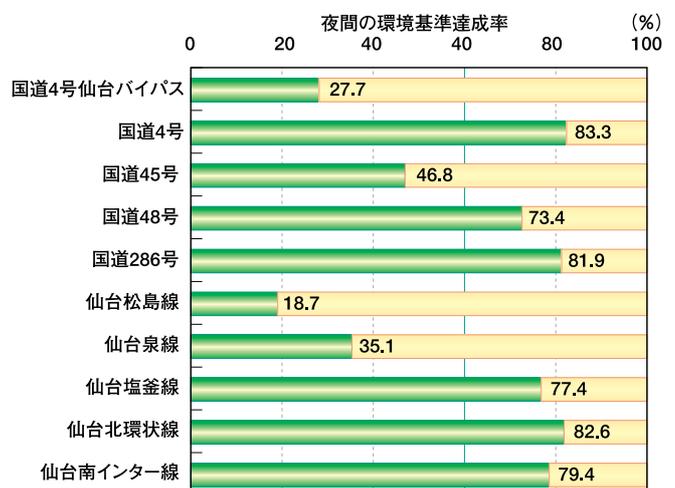


図 主な幹線道路の夜間の自動車騒音の環境基準達成状況
※仙台市環境情報データベース 道路に面する地域の騒音測定結果 (H13) より作成